

## 子どもたちに 気持ちのよい新学期を

～教育施設修繕奉仕活動～

**夏** 休みを利用して市内の小中学校、保育園、幼稚園の施設修繕奉仕活動が行われました。まちの将来を担う子どもたちに、新学期から気持ちよく勉学に励んでもらおうとボランティアで行われたもので、水口町商工会建設業部会・県建築組合水口支部、甲南町電気組合、信楽建築同業組合から76名が参加。熟練の技で、電気や水道、左官、大工工事が手際よく進められました。美しくなった施設で、子どもたち



▲施設の修繕作業を行う皆さん（信楽中学校）

ちも気分を新たに2学期を迎えていることでしょう。

## いのち輝く未来のために

～人権教育研究大会～

**す** べての人々の人権が尊重され、幸せに暮らせることを願い、陶芸の森・信楽産業展示館ホールで8月23日、甲賀市人権教育研究大会が開催されました。実践発表として、人権教育推進協議会信楽支部男女共同企画部会による朗読劇と、信楽中学校の沖縄への修学旅行を通じた平和学習についての報告がありました。人権コンサートでは、やさしくなるうネットワークの島村一夫さんが、歌とお話で観客を魅了しました。一つひとつの歌はもちろん、曲間の楽しく優しい語りからも人



▲優しい歌と語り観客を魅了した人権コンサート

の心を思いやることの大切さが伝わり、来場者はじゅくりと聞き入っていました。

## 11種目のスポーツで 市内の選手が交流

～市民球技大会～

**第** 5回市民球技大会が8月22日、23日、30日の3日間、市内各会場で開催されました。

5つの支部対抗を基本に、サッカーやバスケットボール、グラウンドゴルフなど11種目の球技で選手たちが汗を流しました。また、市民の皆さんが広く参加し、大会を盛り上げようと、今年からオープン参加枠を設けた種目もありました。中でも、ソフトボール男子では、市内企業や地域から多数のチームが出場し、熱戦が繰り広げられました。中学生からお年寄りまでが参加し、市内の選手が交流を深める大会となりました。



▲真剣に競技する選手たち（バドミントン）

## 不思議な実験に 驚きと歓声

～子ども科学教室～

**積** 水化学工業滋賀水口工場で8月19日、チャレンジャー子ども科学教室が開催され、近隣の小学生21名が科学実験を楽しみました。

この教室は、同工場が子どもたちに科学のおもしろさを実感してもらおうと開催しており、昨年に続いて2回目。新入社員が中心となり、クイズ形式で2つの実験が進められました。液体からウレタンができる実験では、2種類の液体が混ざり合って、むくむくと膨らんでいく様子に、子どもたちは歓声を上げていました。楽しい実験は、夏休みの思い出の一つとなったことでした。



▲科学実験を楽しむ小学生たち

## 人と人のつながり 車イスが橋渡し

～鹿深車イスDEウォーキング～

**チ**ームで車イスを操作し、介助し合いながらまちを歩く、鹿深車イスDEウォーキング2009が8月29日、土山地域で開催されました。車イスで生活している人を中心とした実行委員会が企画し、今年で10回目。土山のまちの魅力にふれる5つのコースが用意され、参加者は車イスの目線で旧東海道を散策したり、車イスでバスケットボールやダンスを楽しんだりしました。災害と防災を視点とした今回は、地元自主防災会による煙体験など



▲旧東海道の街並みを楽しみながら車イスで散策

もあり、参加者は、誰もが安心して暮らせるやさしいまちづくりに取り組んで考え合いました。

## 熊本—東京間 リヤカーでごみ拾いの旅

～心のそうじ隊・上村さん～

**ご**み拾いをしながら、熊本から東京をめざしてリヤカーで歩いている上村剛さんが8月31日、甲賀市入りしました。上村さんは、熊本県宇土市でまちづくりに取り組むNPO法人青年協議会の代表理事。ごみ拾いを通して自分たちの心をきれいにしようとして「心のそうじ隊」と書かれたのぼりをリヤカーに掲げ、車道のごみを拾いながら、1日平均15キロを歩いています。上村さんは、「滋賀の人は温



▲市役所水口庁舎に立ち寄る上村さん

かい。車を後ろから押してくれることもあります」と笑顔で話していました。9月3日には道の駅あいの土山から鈴鹿峠に向けて出発、東京でのゴールは10月の予定です。